

第3章 健幸(けんこう)長寿のまち 第2節 早期発見・疾病予防

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を概ね達成することができおり、事業の目的である感染症の発生・まん延防止は図られていると考える。今後は、高い接種率を維持し事業の目的を達成することができるよう、引き続き確実な周知と適切な勧奨に努めていく。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	877,213千円	816,324千円											
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	①小児予防接種接種者数	小児予防接種接種率 (延べ接種者数58,079人÷対象者数58,922人) ※但し、子宮頸がんについては、積極的勧奨を中止していることから除く。	感染症の発生・まん延を防止するためには市民の免疫レベルを高い水準に保つ必要があることから、予防接種の周知・勧奨を確実に行うことにより、100%に近い接種率を維持していくことを目標とする。									
	予防接種法	975,438千円	819,986千円	②高齢者予防接種接種者数											
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績		H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	各種予防接種を実施することで、市民の免疫レベルを高い水準に保ち、感染症の発生・まん延を防止する。	3.35人	非常勤特別職 0.00人			100%	99%								
	【種類】 (小児)ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、(成人)男性の風しん抗体検査、(高齢者)インフルエンザ、成人用肺炎球菌	28,073千円	臨時職員 0.00人			R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①58.079		100%	99%	疾病や体質などにより予防接種を受けられないケースもあり、現実的には100%を達成することは困難なことから、概ね目標は達していると考え							
	期間	1.71人	非常勤特別職 0.00人	②43.406		R2年度目標									
	S23年度～	14,214千円	臨時職員 0.00人	③43.406		100.0%									
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	大腸がん検診の受診者数は、平成29年度の16,328人から、平成30年度の16,677人、令和元年度の16,788人と増え続けている。今後、引き続き受診しやすい環境の整備を行うとともに、様々な媒体を活用した周知に努めていく。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	249,187千円	226,210千円											
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	①延べ申込者数(前立腺がん検診を除く)	大腸がん検診受診率 (受診者数÷対象者数×100=受診率) (受診者:16,788人、対象者:214,891人)	早期発見・早期治療により、がんによる市民の死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とする。									
	健康増進法	252,648千円	232,836千円	②延べ受診者数(前立腺がん検診を除く)											
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績		H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	がん検診を実施することにより、がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。	4.77人	非常勤特別職 0.00人			20.0%	7.8%								
	【検診の種類と対象】 【胃・肺・大腸がん検診は40歳以上の男女、乳がん検診は40歳以上の女性、子宮頸がん検診は20歳以上の女性、前立腺がん検診は50歳から80歳までの5歳刻みの男性	39,973千円	臨時職員 6.86人	①47,186人		R元年度目標	R1実績	大腸がん検診は問診と検体の提出のみで受診することができる。受診者の負担が少ない検診であり、これまで受診しやすい環境の整備を図り、周知に努めており、受診者数も増加したが、対象者数も増加したため。							
	期間	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②40,403人		8.1%	7.8%								
	S58年度～	3.28人	非常勤特別職 0.00人	③3,146人		R2年度目標									
		27,263千円	臨時職員 2.37人			8.1%									
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	緊急時には即時対応の対応ができるよう、関係機関との連携を深め事業を実施している。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	16. 平和と公平をすべての人に		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	760千円	720千円											
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	①精神障害者本人またはその家族等を保護した日数	・平成30年度精神障害者本人またはその家族等を保護した日数 ・令和元年度支援対象者の利用率	平成29・30年度の利用日数については、精神障害者当事者が7日間×10人分、家族については3日間×2人分としている。 令和元年度の利用率は、支援を必要とする者が実際に事業を利用できた割合とする。									
	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	836千円	770千円	②											
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績		H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	精神障害者当事者の精神状態が急変し、不穏な状況により家族等の身体に危険が及ぶ恐れがある場合に、精神障害者グループホーム等の福祉サービス事業所に一時宿泊することにより、精神障害者本人の精神状態の安定化と生活支援を行い、自宅等で安定した生活ができるようにする。また、同居の家族については危険回避等の支援を行う。	0.75人	非常勤特別職 0.00人			76日間	72日間								
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①70日		R元年度目標	R1実績	目標達成							
	期間	0.70人	非常勤特別職 0.00人	②		100.0%	100.0%								
	平成29年度～	5,818千円	臨時職員 0.00人	③		R2年度目標									
						100.0%									

